

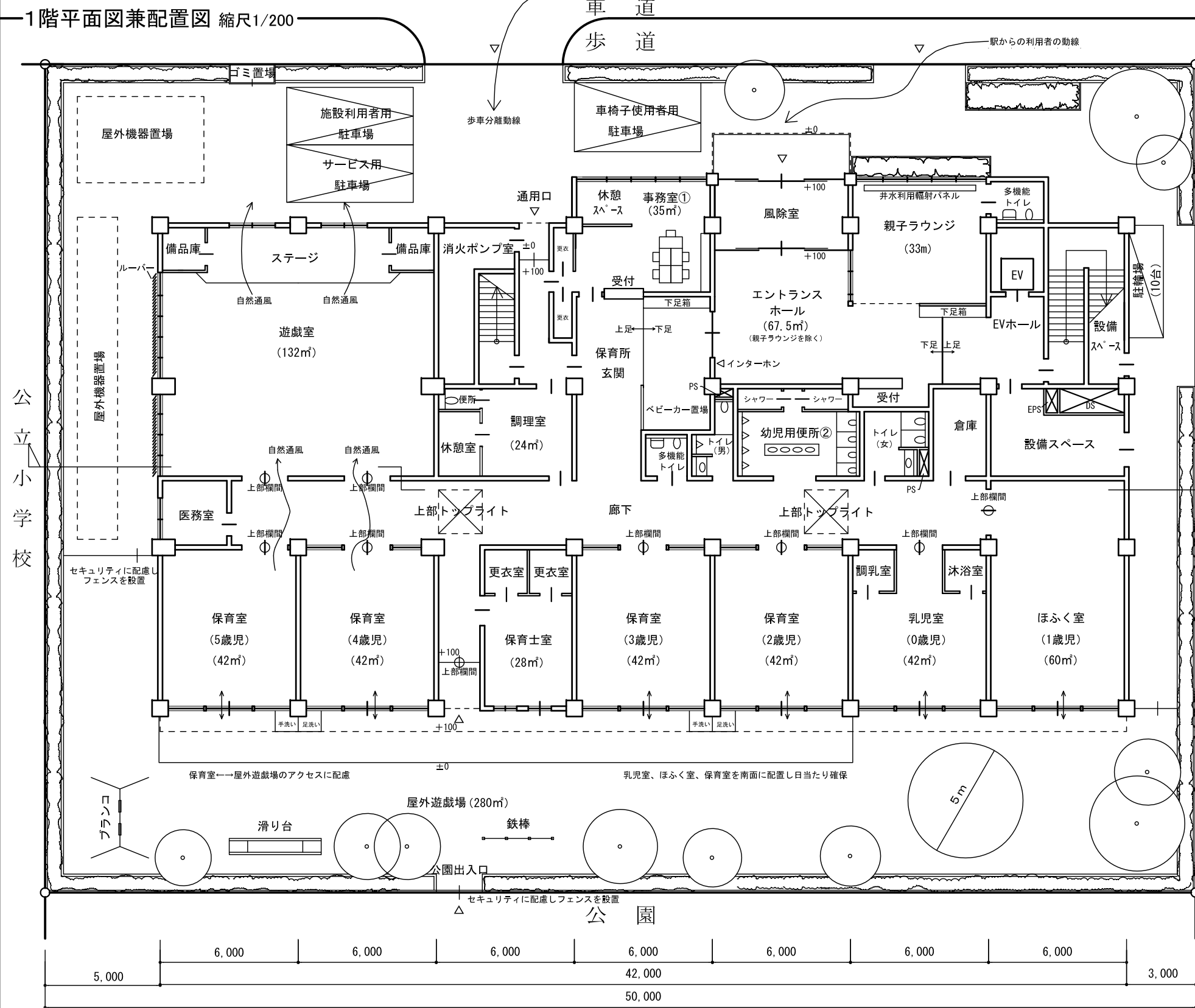
平成 28 年一級建築士試験「設計製図の試験」 標準解答例の公表について

平成 28 年 10 月 9 日(日)に実施された標記試験の標準解答例（合格水準の標準的な解答例をいう。）を下記のとおり公表します。

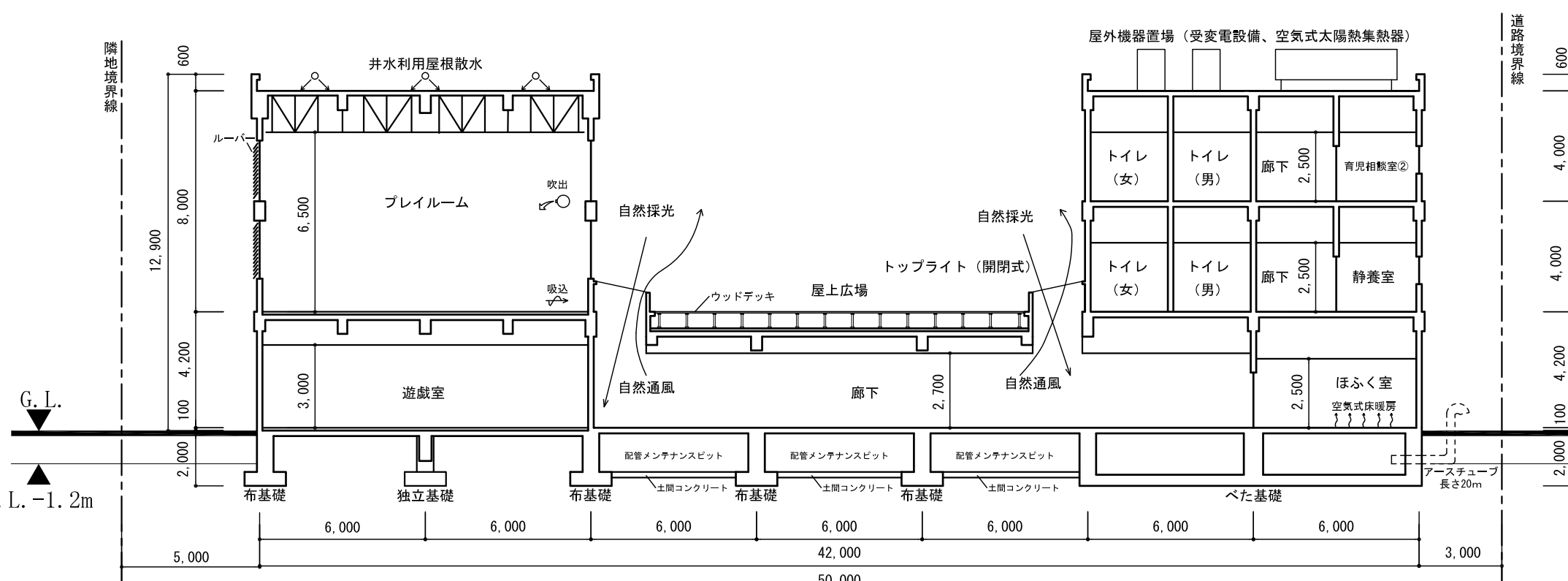
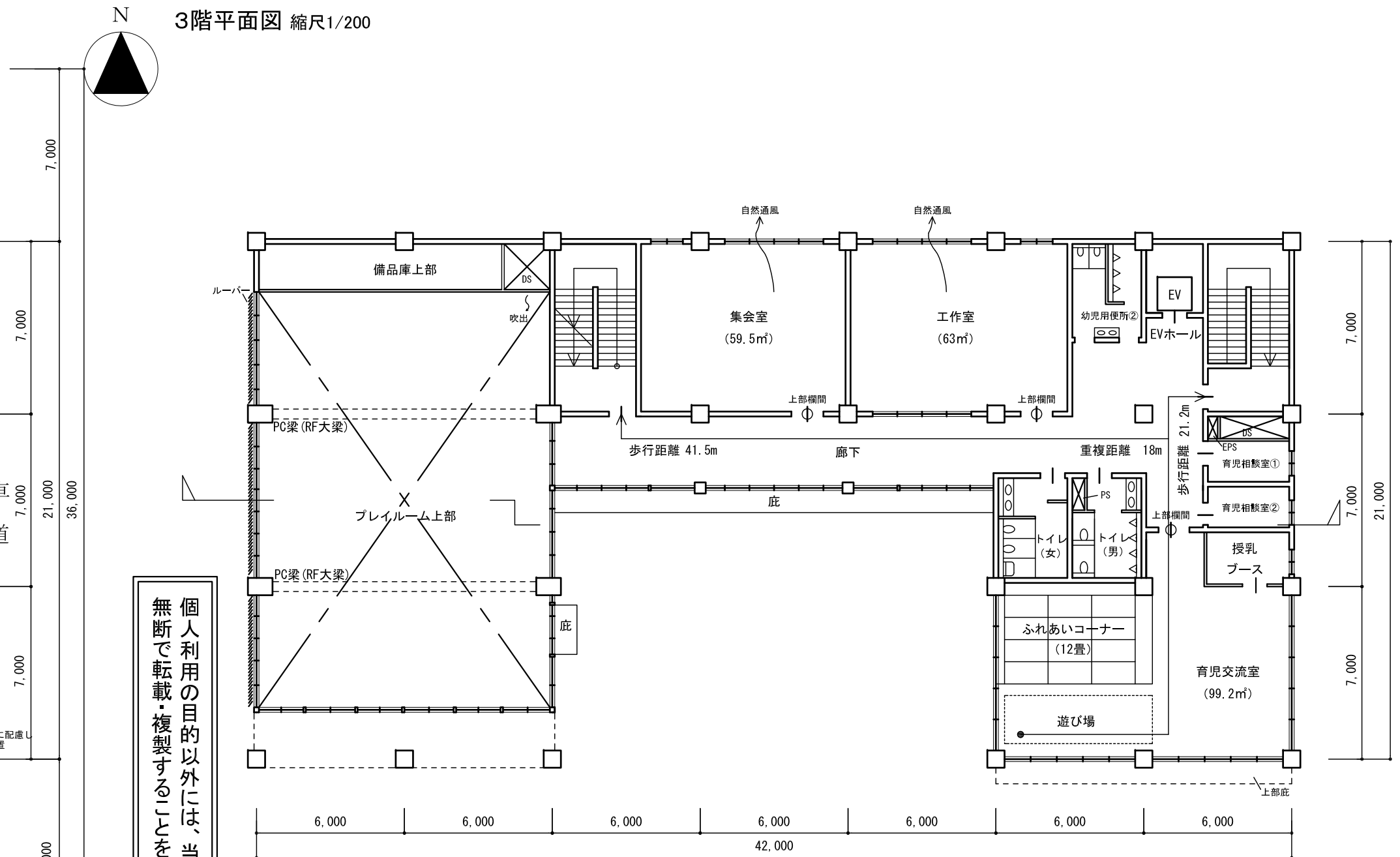
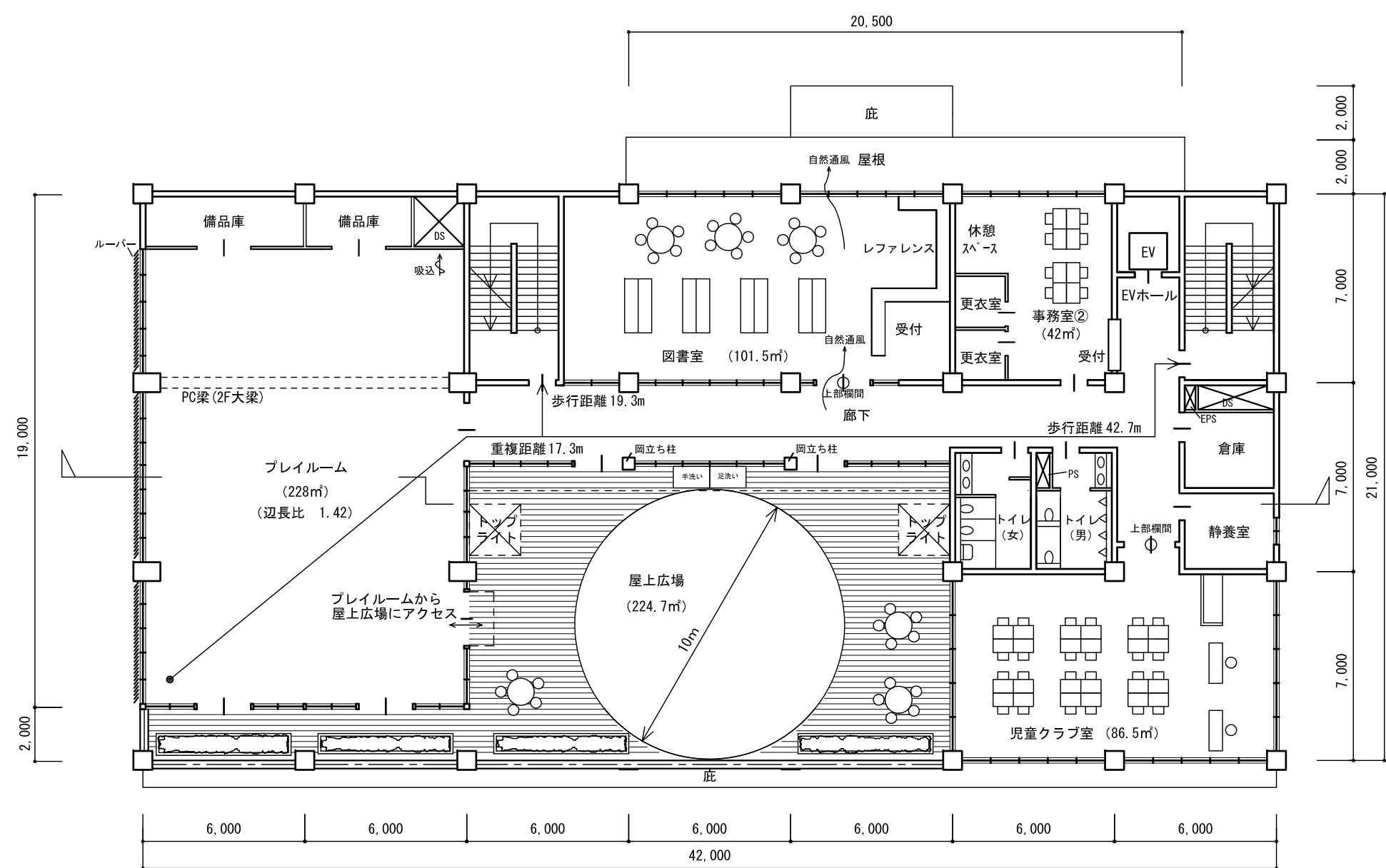
一級建築士試験は、建築士法第 13 条及び第 15 条の 2 の規定に基づいて、国土交通大臣の指定試験機関である当センター（理事長 浅野 宏）が実施しています。

記

1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（一級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、当センター本部・支部及び都道府県建築士会の事務所に掲示するとともに、インターネット上の当センターのホームページ（URL <http://www.jaeic.or.jp/>）にも掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 計画の要点等については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。



2階平面図 縮尺1/200

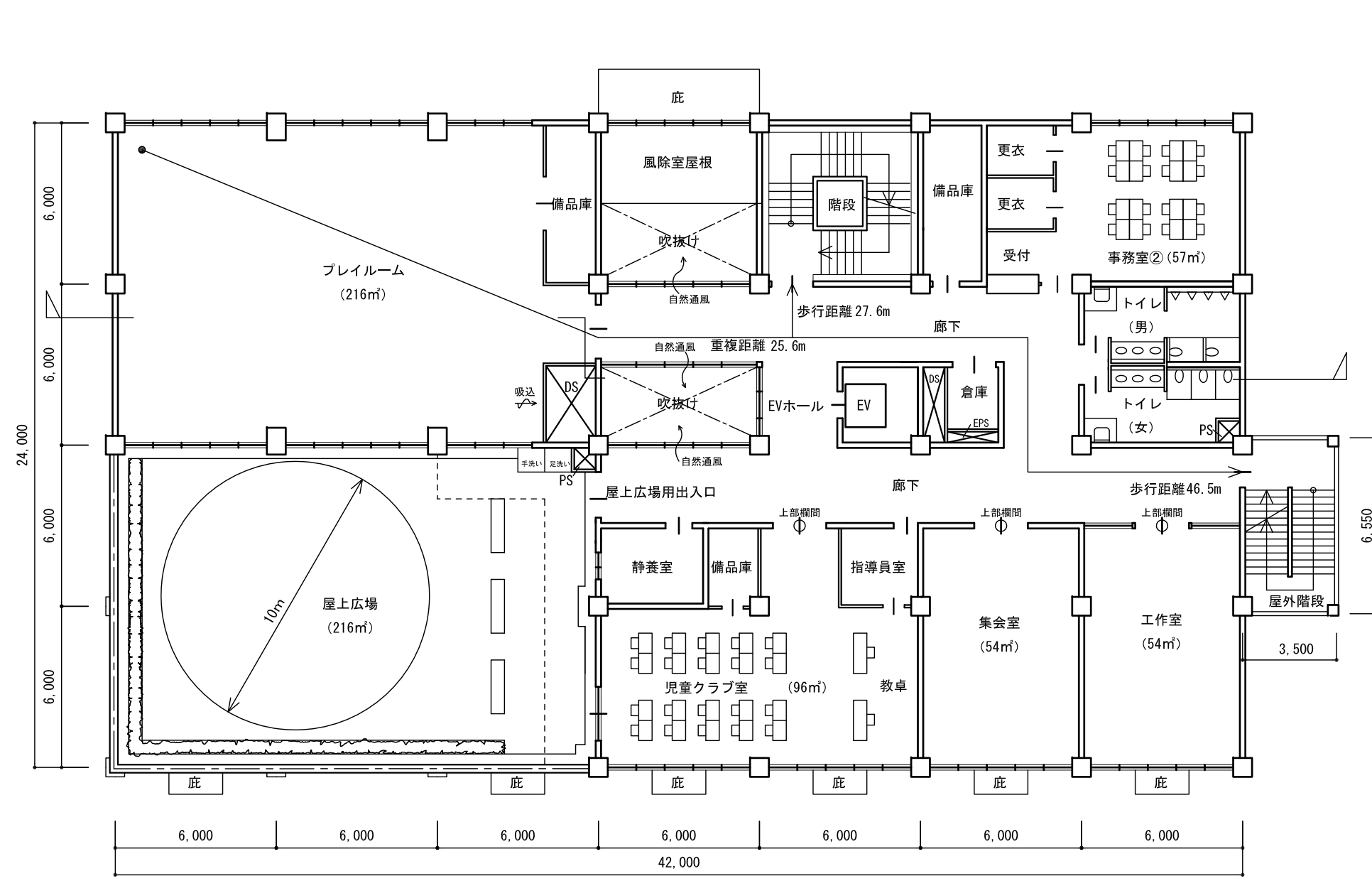
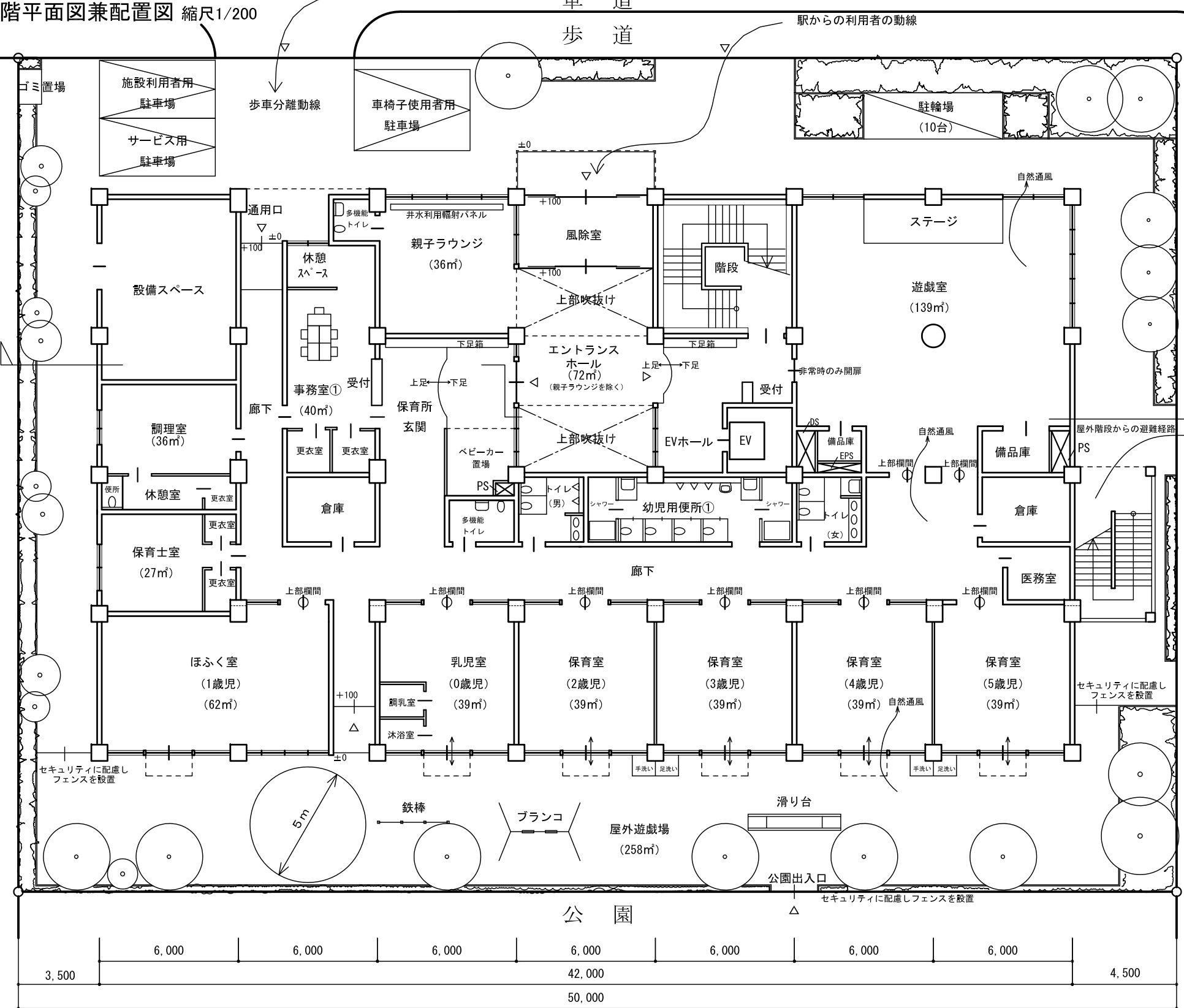


面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

建築面積	算定式 $42 \times 21 + 20.5 \times 2 + 6 \times (2-1)$ (風除室庇)	929.0 m ²
床面積	3階	算定式 $30 \times 21 - 18 \times 11 = 432.00 \text{ m}^2$
	2階	算定式 $42 \times 21 - 18 \times 11 - 12 \times 2 = 660.00 \text{ m}^2$ (屋上広場)
	1階	算定式 $42 \times 21 + 20.5 \times 2 - 2 \times 2 - 1.5 \times 1.5 = 916.75 \text{ m}^2$ (ピロティ)
合計		2,008.7 m ²

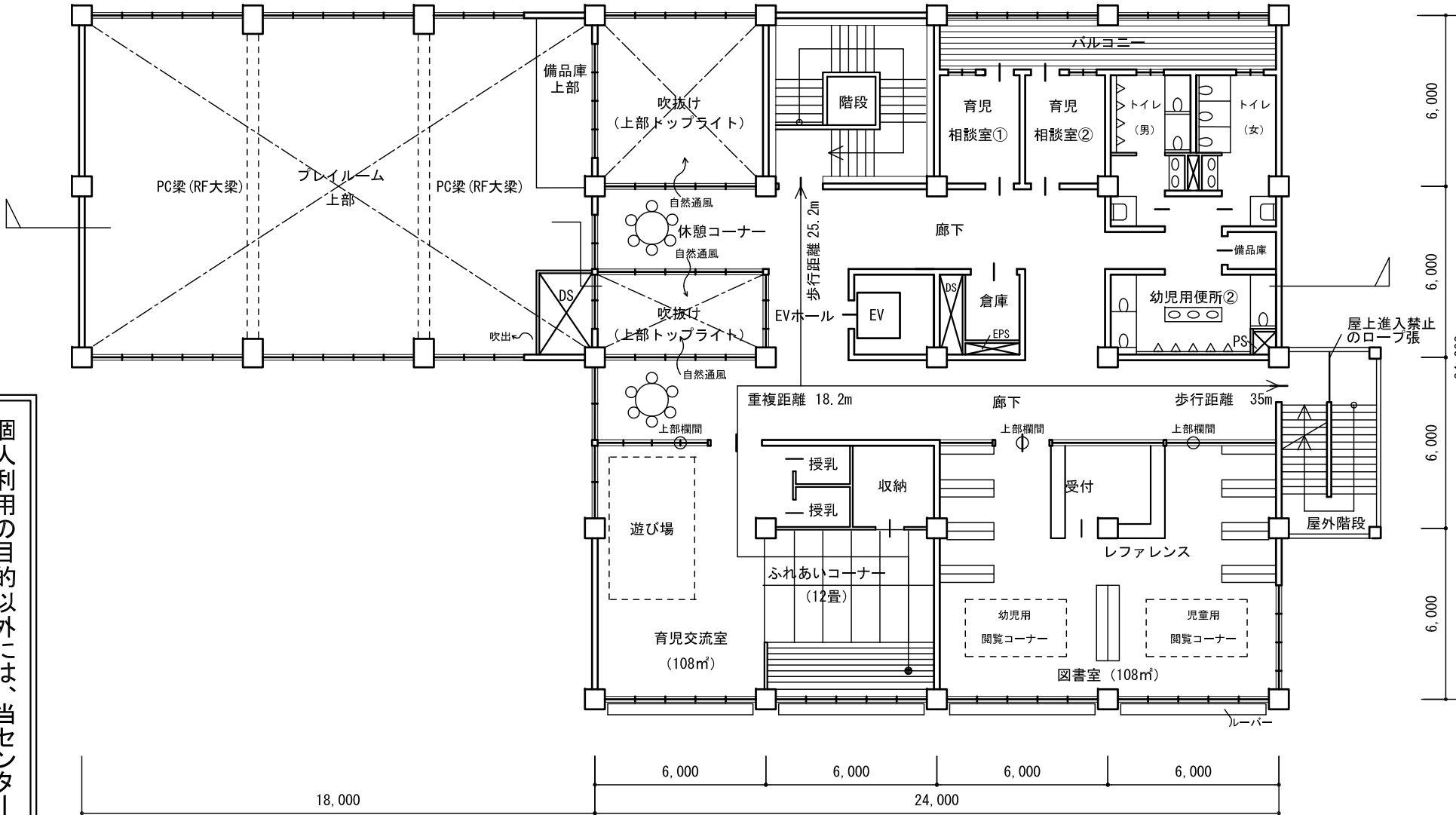
標準解答例①
(この標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。)

1階平面図兼配置図 縮尺1/200

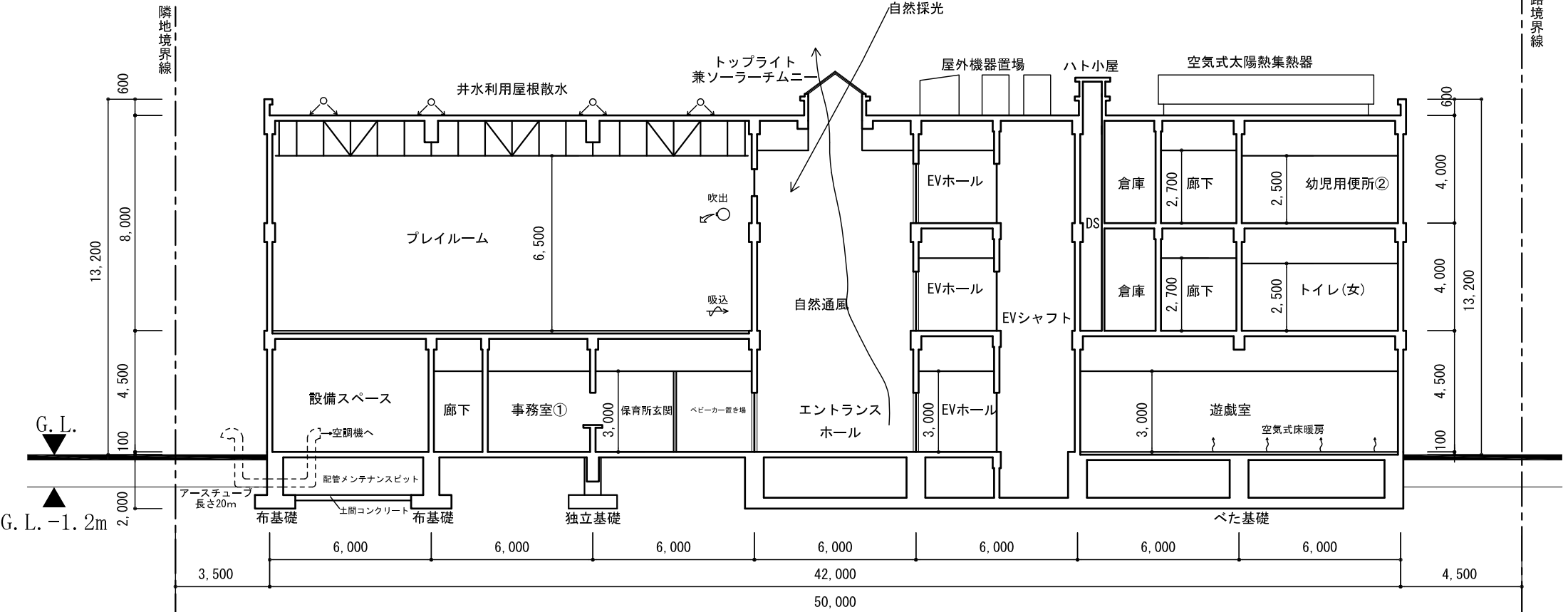


2階平面図 縮尺1/200

3階平面図 縮尺1/200



個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。



断面図 縮尺1/200

面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)		
建築面積	算定式) $42 \times 24 + 6 \times (2-1) + 3.5 \times 6.55 = 1036.92$ (風除室庇) (屋外階段)	1,036.9 m ²
床面積	3階 算定式) $24 \times 24 - 6 \times 6 - 6 \times 3 - 2 \times 12 - 2 \times 2 = 494.00$ (吹抜) (ハコエ) (階段吹抜部分)	合計 2,224.0 m ²
	2階 算定式) $42 \times 24 - 18 \times 12 - 6 \times 6 - 6 \times 3 - 2 \times 2 = 734.00$ (屋上庭園) (吹抜) (階段吹抜部分)	
	1階 算定式) $42 \times 24 - 4 \times 2 - 2 \times 2 = 996.00$ (ピロティ)	

標準解答例②
(この標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。)